

事業年度 毎年2月21日から翌年2月20日まで  
定時株主総会 毎年5月開催  
基準日 定時株主総会・期末配当金／毎年2月20日  
中間配当金 〃毎年8月20日  
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日  
公告方法 電子公告により行ないます。  
http://www.palemo.co.jp/  
※事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告を  
することができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人および  
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社  
株主名簿管理人 愛知県名古屋市中区栄三丁目15番33号  
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
郵便物送付先 〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
電話照会先 ☎ 0120-782-031

### 上場株式等の配当等に係る10%（所得税7%、住民税3%） 軽減税率の廃止について

2014年1月1日から上場株式等の配当等に係る10%軽減税率（所  
得税7%、住民税3%）は廃止され、本来の税率である20%（所得  
税15%、住民税5%）となりました。  
これにより、2014年1月1日から2037年12月31日までは「復興特別  
所得税」を含め20.315%の源泉徴収税率が適用されます。

### 株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

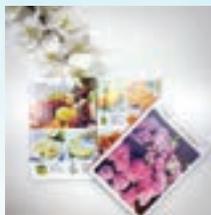
証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続  
きができませんので、取引証券会社へご照会ください。  
証券会社の口座のご利用がない株主様は、左記電話照会先までご  
連絡ください。

### 特別口座について

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されて  
いなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の三井住友信託  
銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設しております。

## 株主優待

株主の皆様方のご支援に対する感謝の印といたし  
まして、毎年2月20日現在の株主名簿に記載された  
300株以上保有の株主の皆様方に対し、下記のとおり  
株主様ご優待品を進呈いたしております。



300株以上	1,000株未満	1,000円のクオカード
1,000株以上		3,000円相当のカタログギフト

### 株式関係業務におけるマイナンバーの利用

法令に定められたとおり、支払調書には株主様のマイナンバーを記載  
し、税務署へ提出いたします。

[主な支払調書]

- \*配当金に関する支払調書
  - \*単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書
- マイナンバーの利用範囲には株式の税務関係手続きも含まれます。  
株主様は、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届けください。

### 愛知県ファミリー・フレンドリー企業登録



登録年月日 平成20年2月15日

登録番号 C0024

仕事と生活の調和のとれた働き方ができる職場環境づくりに取り組む  
愛知県ファミリー・フレンドリー企業として登録いたしました。

～Doing it～

皆様の豊かさ・成長・満足の実現のために



## コロナ禍での収益安定化と、 再成長に向けた基盤構築に努めてまいります

当社グループは、前期において新型コロナウイルス感染症の影響により、業績の回復が困難と判断した店舗の退店に加え、少子化の進行や雑貨業態のマーケット変化に対応すべく、バラエティ雑貨業態を廃止するなど収益の安定化に努めてまいりました。そして今期からは、基幹事業の立て直しに注力するとともに、成長事業への投資を継続し、新型コロナウイルス感染症収束後の再成長に向け、まずは黒字化を達成させるべく全社をあげて各諸施策に取り組んでまいります。

代表取締役社長 **吉田 馨**

指針

正しい経営  
安定成長  
ローコスト経営  
人財経営

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。当社グループ第37期第2四半期報告書をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

この第37期第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言の断続的な発出により、企業収益の悪化や所得環境の回復の遅れに加え、繰り返される活動制限に伴い消費マインドが落ち込むなど、引き続き厳しい環境で推移しました。

当社グループが属する専門店業界におきましては、新型コロナウイルス感染拡大の想定を超えた長期化を背景に、密を避ける行動制限から商業施設の回復は遅れました。一方、巣ごもり消費へと関心が高まる中、Eコマース市場は継続的に拡大しており、リアル店舗からネット通販へと消費行動も大きく変化するなど、ニューノーマル時代の本格到来となりました。

このような環境の中、当社グループにおきましては、コロナ禍で苦戦が続くアパレル事業の立て直しに最優先で取り組むとともに、雑貨事業におきましては、300円均一ショップの新規出店を加速してまいりました。また、新たな客層を取り込むことを目的としたEC発の新規ブランドをスタートしており、

軌道化に向けた取り組みを強化してまいりました。そしてこの上半期は、アパレル業態における不採算店舗の利益改善を図るべく業態変更を進めるとともに、業績回復が困難な店舗の退店並びに賃料減額交渉を継続するほか、本社、本部人員の配置転換を実施するなど、黒字化を達成させるべく、あらゆるコスト削減に努めてまいりました。

下半期におきましても、依然厳しい経営環境が続くと考えられますが、アパレル事業の立て直しと成長事業への投資を継続するとともに、引き続きお客様と従業員の安全・安心を最優先に感染症対策に取り組むつ、早期の業績回復と新型コロナウイルス感染症収束後の再成長に向け、役員をはじめ社員一同、専心努力してまいります。また、今後も当社グループにおきましては、引き続き企業の社会的使命を重視するとともに、企業統治並びにコンプライアンス体制の強化など、企業価値の向上にも努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後におきましても当社グループの事業戦略に、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## Q1 当第2四半期連結累計期間の業績についてお聞かせください

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高85億97百万円(前年同期比2.7%増)、営業損失3億11百万円(前年同期は営業損失7億71百万円)、経常損失3億17百万円(前年同期は経常損失7億66百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失5億6百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失9億53百万円)となりました。

当第2四半期連結累計期間におきましては、第1四半期の3月下旬に緊急事態宣言が全面的に解除され、客数の回復が見込まれましたが、4月に入り感染拡大が深刻な都道府県に再び緊急事態宣言が発出されるなど、ファッション需要が高まる春休み、ゴールデンウィークには大都市圏の商業施設が臨時休業となるほか時間短縮営業を余儀なくされました。第2四半期におきましても、緊急事態宣言の再発出に加え、長梅雨の影響からアパレルの業績回復は進まず、8月には全国的な大雨と新規感染者が過去最多を更新するなど、商業施設の客数に大きな影響をもたらすこととなりました。

このような環境の中で、特にアパレル事業におきましては、“イエナカ需要”に対応した商品開発を進めたものの、緊急事態宣言下における外出の需要縮小に加え、天候不順によるシーズン商品の売上不振が影響し、需給バランスの修正が進まず適切な在庫コントロールが難しい状況となりました。

一方、雑貨事業におきましては300円均一ショップ「illusie300(イルーシーサンマルマル)」の新規出店を継続するとともに、店舗の再生と事業拡大を目的とした、アパレルブランドから「illusie300」への業態変更を進めた結果、一定の成果をあげることができました。しかしながら客数減によるアパレル事業の苦戦から、全社の既存店売上高前年同期比は期初計画を下回る110.0%に留まりました。

利益面におきましては、アパレル事業の業績が低調に推移したものの、雑貨事業の取り組みが奏功したことにより、売上総利益率は前年同期に比べ1.5%の改善となりました。また、経費面におきましては、不採算店舗の退店による固定費削減に努めるほか、個店単位での賃料減額交渉を継続するなど様々な手を尽くしましたが、営業経費は前年同期比95.9%に留まり、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益のいずれも改善傾向にあったものの、黒字化を実現するまでには至りませんでした。

店舗の出退店におきましては、雑貨事業の「illusie300」を新規で9店舗出店する一方で、新型コロナウイルス感染症の影響により、業績の回復が困難と判断した10店舗を退店した結果、当第2四半期末店舗数は409店舗となりました。

今期はコロナ禍による外出自粛の影響によりアパレル事業が苦戦する一方で、雑貨事業による“イエナカ消費”関連の商品がコロナ禍のマーケットに適応し収益を安定化させることができました。この下半期におきましては、アパレル事業の立て直しに注力するとともに、引き続き雑貨事業への投資を強化し、収束後に予想されるリベンジ消費に向けしっかりと足場を固める重要な半年であると考えております。

## Q2 コロナ禍での、下半期施策についてお聞かせください

下半期におきましては、引き続きコロナ禍での業績回復を図るべく、「営業施策(アパレル事業の立て直し)」、「成長施策(出店戦略、EC販売強化)」、「コスト削減(更に踏み込んだ経費削減に着手)」の3つの施策に取り組んでおります。

「営業施策」につきましては、前期より当社の基幹事業であるアパレル事業の立て直しに取り組んでおり、レギュラーサイズ業態におきましては、コロナ禍におけるニューノーマル商品の対応強化に加え、店舗特性に応じた品揃えの改善に取り組んでおります。また、課題となっているシーズン在庫コントロールの適正化にも注力し、店頭在庫の鮮度改善に努めてまいります。また、ラージサイズ業態におきましても、品種別、アイテム別のバランスを修復し、品揃えの適正化を図るとともに、EC事業(ネット通販)の販売強化により、収益の拡大を図っております。

「成長施策」につきましては、アパレル事業における新規出店は抑制しつつも、催事契約での出店や初期投資を抑えたローコストでの出店を継続し、収益の安定化を図っております。また300円均一ショップ「illusie300(イルーシーサンマルマル)」につきましては、今期売上高70億円体制に向け、引き続き新規出店を進めるとともに、店舗の大型化による売上拡大やネット通販も視野に入れ、物流体制の整備にも取り組んでおります。また、EC事業(ネット通販)におきましては、アパレル事業におけるEC発の新規ブランド「NOEMIE(ノエミー)」をスタートしております。10代中頃から20代前半をターゲットとしており、当社の新たな取り組みとして今後の伸びしろを期待できるブランドです。また、主力のラージサイズ業態につきましても、SNSの積極活用により集客の拡大を図るとともに、コロナ禍における低価格志向に対応したプチプライス商品の品揃え強化により、ネット通販での売上拡大に努めてまいります。

「コスト削減」につきましては、上半期に引き続き不採算店舗の退店による固定費削減に努めるとともに、個店単位での賃料減額交渉を継続するほか、本社、本部人員のスリム化を含め、徹底したコスト削減に努めてまいります。

以上、この下半期におきましては、コロナ禍の影響を受けながらも、消費環境が徐々に改善することを前提に、今期の業績予想につきましては、売上高184億円(前年同期比0.8%増)、営業利益50百万円(前年同期は営業損失13億25百万円)、経常利益50百万円(前年同期は経常損失13億21百万円)、親会社株主に帰属する当期純損失3億50百万円(前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失18億80百万円)を見込んでおります。

また、今後におきましては、消費環境がコロナ禍前に完全に戻ることは無いことを前提に、新たな環境に順応した新中期経営計画を策定し、まずは業績を回復させ当社グループが永続的に安定成長していくための準備を着実に進めてまいります。

# アパレル事業の概況

General Condition of Apparel Business

アパレル事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を受け新規出店を抑制するとともに、不採算店舗の退店を進めるほか、店舗毎の品揃え対応強化に努めてまいりました。

今期はニューノーマル対応に向け商品MD(マーチャンダイジング)の抜本的な改革を推進し、幅広い客層に向け、リラックス感があり程よくトレンドを取り入れた、お値打ち感のあるプチプライス商品を品揃えしてまいります。また、EC事業(ネット通販)におきましては、新たな客層を取り込むことを目的とした新規ブランド「NOEMIE(ノエミー)」の販売強化にも努め、アパレル全体の収益安定化に努めてまいります。

## Ludic Park ルディックパーク



遊び心を程よく取り入れた自分らしいファッションを、楽しくセレクトできるショップです。  
エレガンス・クール・カジュアルまで幅広い客層へ向けた最新トレンドと、着まわしのきくベーシックアイテムをお手頃プライスで提案します。

## Lilou de chouchou リルデシュシュ



いつまでもかわいく輝いていた女性に向けて、毎日のHAPPYを演出します。  
エレガンスをベースに程よくトレンドを織り交ぜながらON&OFFあらゆるシーンも自分らしく楽しめる上品で女性らしいファッションを提案します。

## DAISY MERRY デイジーメリー



大人の心と少女の心を持ち合わせたいくつになってもかわいくオシャレをしたい女性に向けて…  
かわいだけでなく、どこかボーイッシュ、ほんのりガリーと、遊び心を取り入れた今欲しいリアルクローズを手頃なプライスで提案します。

## Recherie リシェリエ



「フェミニン」をキーワードに、ベーシックでリラックス感のある大人のカジュアルスタイルを提案します。

## 木糸土 モクシド / Hare no hi ハレノヒ



《木糸土》木・糸・土の素材を活かし、「無理なく、無駄なく」をコンセプトに、シンプルで飽きのこない生活雑貨を提案します。  
《Hare no hi》「ナチュラルライフ」をテーマに、アパレル、雑貨をトータルにコーディネート。ライフスタイルを提案します。

## GAL FIT ガルフィット



「フェミニン&クール」をテーマに、リラックス感のあるカジュアルスタイルとエッジの効いたモードスタイルを提案します。

## suzutan スズタン



「エレガンス&フェミニン」をテーマに、幅広い客層へ最新トレンドと着まわしのきくベーシックアイテムを提案します。

## Re-J リジェイ / SUPURE スプル



《Re-J》「デイリー&リラックス」をテーマに、ベーシックアイテムとシーズントレンドを程よくMIXした“大人カジュアル”を提案するラージサイズSHOPです。  
《SUPURE》「フェミニン&カジュアル」をテーマに、上品さと着心地を大切にしたラージサイズSHOPです。

# 雑貨事業の概況

General Condition of Miscellaneous Goods Business



雑貨事業におきましては、300円均一ショップ「illusie300(イルーシーサンマルマル)」の出店が進行しており、前期末の94店舗から112店舗へ増加しております。コロナ禍における収益も安定しており、基幹事業へと成長を遂げております。

当第2四半期累計期間においては、「illusie300」を9店舗出店、アパレル店舗から「illusie300」への業態変更を11店舗実施しており、店舗数、売上高ともに拡大しております。この下半期におきましても、商品MD(マーチャンダイジング)のブラッシュアップにより既存店舗の底上げに努め、競合他社との差別化と業界でのシェア拡大を図ってまいります。

## illusie300 イルーシーサンマルマル



「日常に彩り」をテーマに、300円のプチプライスでライフスタイルを提案します。

## INCENSE インセンス



「MY BAGを探す楽しさや、見つけた時の喜びを共有できるBAG SHOP」。自分のスタイルを確立した大人の男女に、「オンリーワン」のバッグを提案します。

## NOÉMIE ノエミー



普段も特別な日も可愛い。扉を開くたびに“ときめきを感じる”お洋服で、クローゼットをいっぱいしたい。そんな、あなたの願いに寄り添えるように“愛らしくて愛嬌のある魅力的な女の子”をテーマに、お砂糖菓子みたいな甘さと、ちょっぴりダークでかわいらしさのあるお洋服をあなたに提案します。

## アパレル事業ブランド別の状況

(単位:店舗)

	出店	退店	ブランド転換	当第2四半期末店舗数
レギュラー店舗	0	6	△6	243
ルディックパーク、9スクエア	0	0	0	44
リルデシュシュ	0	0	0	8
デイジーメリー	0	0	0	4
リシェリエ、ドスチ	0	0	0	38
木糸土・ハレノヒ(※1)	0	0	0	16
ギャルフィット・スズタン他	0	6	△6	133
ラージサイズ店舗	0	1	△1	32
<b>アパレル事業合計</b>	<b>0</b>	<b>7</b>	<b>△7</b>	<b>275</b>

(※1) 前期より「木糸土・ハレノヒ」をアパレル事業に含んでおります。

## 雑貨事業ブランド別の状況

(単位:店舗)

	出店	退店	ブランド転換	当第2四半期末店舗数
イルーシーサンマルマル	9	2	11	112
シベレット	0	0	△4	2
インセンス	0	0	0	15
<b>雑貨事業合計</b>	<b>9</b>	<b>2</b>	<b>7</b>	<b>129</b>
複合店(※2)	0	1	0	5
<b>全社合計</b>	<b>9</b>	<b>10</b>	<b>0</b>	<b>409</b>

(※2) 複合店とは、アパレル事業、雑貨事業のブランドを複数合わせた店舗です。

四半期連結貸借対照表

	(単位:百万円)		
	当第2四半期連結会計期間末 (2021年8月20日現在)	前第2四半期連結会計期間末 (2020年8月20日現在)	前連結会計年度 (2021年2月20日現在)
<b>■資産の部</b>			
流動資産	4,825	5,875	5,070
固定資産	4,658	5,625	4,921
有形固定資産	1,298	1,482	1,319
無形固定資産	100	132	116
投資その他の資産	3,258	4,009	3,485
<b>資産合計</b>	<b>9,483</b>	<b>11,500</b>	<b>9,992</b>
<b>■負債の部</b>			
流動負債	5,463	6,372	5,514
固定負債	2,716	2,374	2,669
<b>負債合計</b>	<b>8,180</b>	<b>8,746</b>	<b>8,184</b>
<b>■純資産の部</b>			
株主資本	1,270	2,723	1,769
資本金	100	100	100
資本剰余金	1,981	1,979	1,979
利益剰余金	△786	647	△280
自己株式	△25	△3	△29
新株予約権	33	30	38
<b>純資産合計</b>	<b>1,303</b>	<b>2,753</b>	<b>1,808</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>9,483</b>	<b>11,500</b>	<b>9,992</b>

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位:百万円)	
	当第2四半期連結会計期間 [2021年2月21日から 2021年8月20日まで]	前第2四半期連結会計期間 [2020年2月21日から 2020年8月20日まで]
③ 営業活動によるキャッシュ・フロー	△848	△1,820
④ 投資活動によるキャッシュ・フロー	140	△43
⑤ 財務活動によるキャッシュ・フロー	131	1,563
現金及び現金同等物の増減額	△576	△300
現金及び現金同等物の期首残高	2,135	2,244
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,559	1,943

四半期連結損益計算書

	(単位:百万円)		
	当第2四半期連結会計期間 [2021年2月21日から 2021年8月20日まで]	前第2四半期連結会計期間 [2020年2月21日から 2020年8月20日まで]	前連結会計年度 [2020年2月21日から 2021年2月20日まで]
① 売上高	<b>8,597</b>	<b>8,371</b>	<b>18,257</b>
売上原価	3,977	4,001	8,863
<b>売上総利益</b>	<b>4,619</b>	<b>4,370</b>	<b>9,394</b>
販売費及び一般管理費	4,930	5,141	10,719
② 営業損失(△)	<b>△311</b>	<b>△771</b>	<b>△1,325</b>
営業外収益	6	15	27
営業外費用	12	10	23
<b>経常損失(△)</b>	<b>△317</b>	<b>△766</b>	<b>△1,321</b>
特別利益	14	168	346
特別損失	112	294	832
<b>税金等調整前四半期(当期)純損失(△)</b>	<b>△415</b>	<b>△891</b>	<b>△1,807</b>
法人税、住民税及び事業税	11	11	18
法人税等調整額	78	50	54
<b>親会社株主に帰属する四半期(当期)純損失(△)</b>	<b>△506</b>	<b>△953</b>	<b>△1,880</b>

POINT

- 売上高は前年同期に比べ2億25百万円増加の85億97百万円となりました。これは主に、既存店売上高前年同期比が110.0%と堅調に推移したことに加え、雑貨事業の新規出店を進めたことにより、業績の拡大が図られたことによるものです。
- 営業利益は前年同期に比べ4億59百万円増加の3億11百万円の損失となりました。これは主に、アパレル事業の売上高減少と、それに伴う滞在在庫の処分によるものです。
- 営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ9億71百万円増加の8億48百万円の支出となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失4億15百万円や、たな卸資産の増加3億63百万円などの計上によるものです。
- 投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ1億83百万円増加の1億40百万円の収入となりました。これは主に、差入保証金2億32百万円の回収による収入によるものです。
- 財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ14億31百万円減少の1億31百万円の収入となりました。これは主に、長期借入金3億62百万円の返済によるものです。

親会社株主に帰属する

四半期(当期)純利益(損失)(百万円)



売上高 (百万円)



営業利益(損失)(百万円)



会社概要 (2021年8月20日現在)

社名 パレモ・ホールディングス株式会社  
 設立 1984年11月22日  
 資本金 1億円  
 本社所在地 〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅五丁目27番13号 名駅錦橋ビル6F  
 従業員数 2,135名(グループ含む)  
 (ナショナル社員160名、エリア社員他1,975名)  
 事業内容 事業子会社の経営管理等  
 ホームページ <http://www.palemo.co.jp/>

役員 (2021年8月20日現在)

代表取締役社長 吉田 馨  
 取締役 香西 雅弘  
 取締役 福井 正弘  
 取締役 永田 昭夫  
 取締役 赤塚 憲昭  
 常勤監査役 土田 新一郎  
 監査役 今枝 剛  
 監査役 川口 直也

注: 取締役のうち、永田 昭夫、赤塚 憲昭の両氏は社外取締役であります。監査役のうち、今枝 剛、川口 直也の両氏は社外監査役であります。

株式情報 (2021年8月20日現在)

発行可能株式総数	27,360,000株
発行済株式の総数	12,051,384株
単元株式数	100株
株主数	11,126名

大株主 (2021年8月20日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社西松屋チェーン	2,087	17.49
個人株主A	571	4.78
日本証券金融株式会社	527	4.42
株式会社SBI証券	512	4.29
auカブコム証券株式会社	351	2.94
トラストワークスプランニング株式会社	285	2.39
パレモ従業員持株会	206	1.73
サンラリー株式会社	120	1.01
個人株主B	120	1.00
個人株主C	110	0.92

注: 持株比率は、当第2四半期会計期間の末日における発行済株式(自己株式を除く。)の総数に対する割合であります。

株主構成 (2021年8月20日現在)

